

# 令和8年度 第1回伊勢崎市多文化共生キーパーソン会議

## 会議録

開催日時 令和8年5月26日(火) 午後6時00分～午後7時30分

開催場所 伊勢崎市役所東館5階第2会議室

参加者

・キーパーソン【8名】

上野 隆男さん(日本)、NGUYEN HUU THAOさん(ベトナム)、  
SHIBUYA JAKIRさん(バングラデシュ) NANG NYO NYO HLA(ミャンマー)、  
丸山 静さん(中国)、ムハンマド ジャービルさん(バングラデシュ)、  
村松 ローズさん(フィリピン)、若林 スエリさん(ブラジル)

・事務局(多文化共生課)【6名】

副部長、課長、課長補佐2名、職員2名

---

### 1 開会

### 2 自己紹介

### 3 令和8年度の活動予定について

<事務局>

○キーパーソンの役割について

- ① SNS等を用いた外国人住民への情報発信
- ② 地域での外国人と日本人の交流推進
- ③ 地域の課題解決のための意見収集
- ④ キーパーソン会議への参加

・キーパーソンの認定制度は、コロナ禍の際、外国籍住民に情報発信をする目的で令和3年2月に発足したもの。今後地域で出た課題について意見交換をする中で、キーパーソンの役割についても見直していく。

○今後の活動予定

- ・年4回程度の会議を開催し、日本の生活ルールの周知方法や防災対策について意見交換を行う。現在、外国人が多い行政区にヒアリングを行っており、ここで出た意見をもとに市や行政区、キーパーソンで話し合い、今後の取組みに活かしたい。
- ・市や国際交流協会が行う、外国人への情報発信や外国人と日本人の交流に協力いただきたい。

<キーパーソン>

・意見交換やヒアリングはすでに行われているので、今は実際の現場活動に移行すべき。  
・机上の議論だけでは進展がなく、キーパーソンが直接外国人住民に働きかける具体的な活動が必要。

- ・行政区単位での取組みを重視し、地域の実情に合わせた活動を展開すべき。
- ・交流と共生の施策は別物として考えるべき。

<事務局>

- ・会議の意見交換の中で、キーパーソンが直接外国人住民に働きかけ、生活課題の解決に向けた支援を行うことも検討する。
- ・各行政区の実情を把握し、地域に根差した具体的な活動を企画・実施したい。
- ・交流と共生は両輪で進めるものと考えており、それぞれの取組みにご協力頂きたい。

<キーパーソン>

- ・外国人への周知について、SNS で使っている人が多いものは Facebook や TikTok。
- ・地区ごとに外国人を集める方法を考えるべき。そこで地区の役員に説明をしてもらうのが良い。
- ・ごみ出しのマナーを改善するためには、説明だけではなく、見張ったりする必要もある。

#### 4 最近の市の主な取組について

<事務局>

○多文化共生センターの開設

- ・交流の促進
- ・情報提供
- ・生活相談窓口

○外国人を雇用する企業との連携

- ・企業向け Web ページの作成
- ・企業への周知とネットワークの構築
- ・定期的な情報交換

○コミュニケーション支援の拡充

- ・通訳サービス「KOTOBAL」の導入
- ・多言語コールセンターの開設
- ・行政区レンタル用ポケットークの貸出場所を拡充

○行政区との連携強化

- ・R7 は各地区区長会にヒアリング、R8 は外国籍住民が多い行政区にヒアリング
- ・地域ごとの課題を担当部署と共有し、市役所全体で課題解決に取り組む

<キーパーソン>

- ・多文化共生センターについて、相談はいつでもできるのか。外国語対応があるのか。

<事務局>

・開館日であれば相談可能。時間は市役所と同じ8時30分から17時15分まで。  
KOTOBALも導入したので多言語対応可能。

<キーパーソン>

・外国人を雇用する企業との連携について、実際に連携を取り合っている企業は何社あるか。大企業だけでなく個人経営や中小企業も含まれているか。  
・法令での規定があるのか。

<事務局>

・同意してメールアドレスの提供があった事業所は50社。中小企業も含まれている。  
・法令での規定はない。本取組みの趣旨は、市や地域と外国人が接する機会が少ない現状がある中、毎日出勤する企業で、市の共通するルールを指導するように協力を依頼するもの。

<キーパーソン>

・地区によってルールが異なるので、区長を中心に活動をしていくべき。  
・ポケットークについて、稼働率を上げる方法を考えた方が良い。貸出場所が増えた件について、どういう形で周知しているか。

<事務局>

・5月の区長会役員会で報告し、各公民館にも各地区区長会で周知するよう依頼した。

<キーパーソン>

・外国人が多いところに何度も地道にアプローチしていけばきっとよくなると思う。  
・地域ごとの良い取り組みを区長会役員会で水平展開するべき。  
・キーパーソンが講師となってお願いや注意を繰り返し行うべき。  
・外国人の中でリーダーシップをとれる人が重要。  
・自分の地区がきれいな方が良いという思いはあると思うが、実際に行動する人が少ない。  
・郷に入っては郷に従えという言葉のとおり、違う国に行くならその国のルールを学び理解すべきだと思う。私たちキーパーソンがインフルエンサーとなって、教えていけたら良い。

## 5 事務連絡 第2回多文化共生キーパーソン会議について

<事務局>

・生活ルールの周知対策というテーマで、ヒアリング先の区長や環境指導員と、資源循環課も交えて意見交換をしたい。  
・7月14（火）または7月28（火）を候補日とし、後日メールで報告する。

<キーパーソン>

・会議の回数について、年4回は少ないのではないか。

<事務局>

・会議の回数については今後の会議の内容も踏まえ、必要があれば増やすことも検討する。

## 6 閉会